

H.29
(2017年)

十一月（今月の掲示板）

真宗大谷派・願成寺

『人生は苦^く思^{おも}い通りにならない』を解決する仏教

お釈迦様が初めて説かれた真理・眞実に『人生は苦^く思^{おも}い通りにならない』があります。物事を正しく見分けられないのを『無智^{むち}・無明^{むみょう}』と言い、無智と欲望から我執（利己主義）が生じ、思い通りにならないと苦惱します。苦は縁（条件）により生じ・煩惱（心身を煩わせ悩ます原因）を除くと苦惱は解決します。お釈迦様は『規則正しい生活をし・心を静寂にし・物事の事実を見極める智慧を深めること』が苦惱の解決法と説かれました。

赤ん坊は親の懷に抱かれ、与えられた命を仏様に助けられ生きています。が、2～3歳以後は、自分勝手（主観的）な間違った見方で、好き嫌い・善惡などを決めて苦惱します。仏法は『衆生（全ての生物）の客観的（我執の無い無我）な正しい見方により眞実に目覚め・煩惱を除けば苦惱から解放される』と説きます。親鸞聖人の恩徳讃（みみきやう）「身を粉にしても、骨を碎いても」は、『無我になり、阿弥陀仏の大悲と恩徳に感謝すべし』の意味です。

主な参考資料

(1)古田和弘(著)『仏教入門—最終回・親鸞聖人』、月刊誌・同朋、2017年6月号、p.33～35(東本願寺出版)。

(2)藤井善隆(著)『仏さまのお弟子になる』、東本願寺出版(2017年)。

(3)小池秀章(著)『高校生からの仏教入門』、本願寺出版社(2009年)。